

平成30年 放課後等デイサービス ちびっこだんぐり 自己評価

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	85.2%	14.2%	0%	部屋が隣合わせに二つあるため、必要に応じて利用できます。庭も広く確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	85.2%	14.2%	0%	その日の児童の人数に合わせて基準の職員数を配置しています。
	③	職員の専門性は適切であるか	85.2%	14.2%	0%	有資格の指導員、経験豊富な指導員を配置しています。
業務改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	85.2%	14.2%	0%	指導員全員が会議に参加し、情報共有を行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	定期的にアンケート調査を行い、保護者様のご意見を反映できるよう努めています。
	⑥	この自己評価表の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%	会報、インターネット上でも公開しました。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0%	14.2%	85.2%	今後、第三者による外部評価も検討していきたいと思えます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	71%	14.2%	14.2%	地域での研修の情報を随時取り入れ、参加を呼び掛けています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	半年ごと個別支援計画の作成をしています。また、指導員全体でケース会議も実施しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	85.2%	14.2%	0%	標準化されたアセスメントシートツールを使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	0%	指導員全体での会議において、様々な視点から意見を出しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	季節に応じた活動プログラムやスポーツ、クッキング、創作活動等様々な経験ができるよう職員全体で立案しています。
	⑬	平日、学校休業日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	100%	0%	0%	学校がお休みの日にはおでかけすることもあります。

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	一人ひとりの特性に合わせて個別支援計画を作成し、活動や生活の中で支援しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	85.2%	14.2%	0%	その日の児童の送迎先、活動プログラム内容、支援の内容等指導員全体で確認します。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	85.2%	14.2%	0%	指導員全体での振り返りを行い、児童の様子等情報共有をしています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	児童一人ひとりの様子等を記録し、個別支援計画の立案時や支援に活用しています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	利用開始3か月後とその後半年ごとモニタリングを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	85.2%	14.2%	0%	指導員全員、ガイドラインに目を通し、共通認識を持ち支援に活用しています。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通したもっともふさわしい者が参画しているか	85.2%	14.2%	0%	相談支援事業所との連携を密にとり、担当者会議にはその児童の担当指導員が責任を持って参加しています。
	㉑	学校との情報共有(年間行事・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	85.2%	14.2%	0%	下校時刻や引き渡し方法等要確認し、指導員全体で情報共有しています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0%	85.2%	14.2%	現在、医療的ケアが必要な児童はいませんが、受け入れの際は、主治医やご家族との連携を密にとっていきます。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	42.6%	28.4%	28.4%	相談支援事業所等通して情報共有しています。職員会議等で把握できるようにしています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	85.2%	14.2%	0%	相談支援事業所や障害福祉サービス事業所と連携を密にとり、情報提供を行っております。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	14.2%	42.6%	42.6%	研修を受けている指導員が一部であったため、全体へ参加を促していきます。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0%	14.2%	85.2%	今後、地域行事への参加等検討していきます。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	85.2%	14.2%	0%	市町村の障害者総合支援協議会に参加をしています。

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達や状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	連絡ノートや送迎時など活用し、児童の様子を共有しています。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	14.2%	42.6%	42.6%	希望者のみ支援を行っています。
保護者への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	85.2%	14.2%	0%	契約時、一つ一つ説明をしています。また、文書にて配布も行っています。
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか	85.2%	14.2%	0%	相談があれば送迎時や電話等においてすぐに対応させていただいております。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0%	28.4%	71%	開催希望の意見もありましたので、今後、父母の会の開催を検討していきます。
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	マニュアル作成を行い、迅速な対応を心がけています。また記録に残し、今後の対応に活かしています。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概念や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	85.2%	14.2%	0%	毎月、活動写真を交え発行しています。HPのブログ、サイト上でも随時更新しています。
	㉗	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	書類等は全て鍵付き書庫に保管しています。
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため配慮をしているか	85.2%	14.2%	0%	児童、保護者様とのコミュニケーションを大切にしています。
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0%	28.4%	71%	今後、地域住民との交流する機会を検討していきます。
非常時等の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	85.2%	14.2%	0%	災害時対応マニュアル等策定しています。職員への周知はできておりますので、保護者様にもより周知していただけるようにしていきます。
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	85.2%	14.2%	0%	4月と9月の年に2回、避難訓練、地域の避難場所までの経路の確認を実施しています。
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	85.2%	14.2%	0%	毎月全指導員対象の勉強会を行い、その中で虐待防止の呼びかけ等行っています。
	㉝	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	0%	28.4%	71%	身体拘束はせず、指導員の配置を増やす等対応しています。

④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	85.2%	14.2%	0%	定期的にあセスメントシートを更新し、アレルギーの情報、対応法について保護者の方と連携をとっています。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	85.2%	14.2%	0%	事故、ヒヤリハットについては、記録に残し防止に努めています。

※ちびっこどんぐりの指導員6人を対象に行いました。